

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

教員養成の目標

本学は1964年に中部地区の産業界31社の支援により設立され、「実学教育」、「実践的工学技術者養成」を教育理念にして、産業界の期待に応えてきました。

本学の教職課程では、工学部の各学科では高校工業、高校数学、中学数学、情報学部情報システム学科では高校情報、高校数学、中学数学の教員免許の取得が可能です。その教員養成において、本学の教育理念を受け継ぎ、下記の教員を養成することを目標として取り組みます。

①高度な知識と実践的な能力

工業、情報に関する高度な知識と技能を持つとともに、それらの知識や技能が様々な産業や実社会ではどのように活かされているかを理解し、それらを教育の場で実践的に発揮することのできる教員。

数学に関する高度な知識と概念を持つとともに、それらが様々な産業や実社会の基礎となっていることを理解し、それらの知識や概念を教育の場で実践的に活用することのできる教員。

学級経営、生徒指導等において、豊かな知識と指導方法を理解するとともに、それらを教育の場で実践的に活用することのできる教員。

②他者の尊重、愛情、使命感・責任感

子ども、保護者、同僚など、他者を尊重し、豊かなコミュニケーションをとることができるとともに、子どもへの愛情、教育に対する使命感・責任感にあふれる教員。

③広い視野と教養、柔軟な思考力

広く社会のできごとや教育の問題に目を向け、幅広い教養と柔軟な思考力を持ち、学び続ける教員。

目標を達成するための計画

上記の目標を達成するために、一人一人の学生が次のことを修得、獲得できるよう、4年間を通じて指導します。なお、科目名、各科目の授業内容、到達目標、成績評価の基準等についてはシラバスに明示していますので、そちらをご覧ください。

1年次

教職科目において、これまで受けてきた教育を振り返り、教育に関する基礎的・基本的

な知識や考え方を修得するとともに、教育に対する使命を理解し、教員をめざそうとする意欲・態度を身につける。

専門科目において、高校までの既習事項を振り返るとともに、工業、情報、数学の基礎的な事項について修得する。

一般教養科目において、人文科学、社会科学、自然科学に関する知識、概念を幅広く修得する。(1～3年次)

2年次

教職科目において、子どもの発達、教育課程、教育評価など、教育の基本的事項について修得する。

専門科目において、1年次の学習事項と関連させつつ、工業、情報、数学の発展的な事項について修得する。

3年次

教職科目において、各教科・道徳および教育相談に関する具体的な指導法を修得する。教育実習の意義・目的、指導方法等を理解するとともに、それに向けての心構えを確立する。中学免許希望者は福祉施設、特別支援学校での体験実習を行い、個人の尊厳、社会連帯の大切さについて実践を通して理解する。

専門科目において、工業、情報、数学に関する専門的な事項について修得する。

4年次

教職科目において、生徒指導、特別活動に関する具体的な指導法を学ぶ。教育実習と事後の振り返りを通して、これまでの学修の成果を発揮するとともに実践力量を高める。教職実践演習を通して、4年間学んできたことの定着を図るとともに、教職現場に臨む姿勢を確立する。

各学科の卒業研究を通して、専門分野の理解を深めるとともに、探求心を身につける。
全体を通じて

入学時より卒業時まで、履修カルテを作成することを通して、それぞれの教科・科目の修得状況および様々な教育活動の成果の確認と理解の深化を図るとともに、教職に向けての意識を高める。

各教科において、話し合いやグループ学習などを積極的にすすめ、コミュニケーションの力や幅広い視野で考える力を身につける。

随時ボランティア活動等を紹介する。その活動を通して、実践的な力量を高めるとともに、広い視野で教育問題を考える力を身につける。

希望者には、授業とは別に、文章作成、教職教養の学習など、教育に関わる力量を高める場を随時設ける。